古市ふるさとネット　第87号

古市地区の人口　６月末

男	女	計	世帯	
1,047	1,196	2,243	827	小学生 78人 幼稚園 27人 7月初
+3	±0	+3	+2	人口は市の 5.2％

篠山市波賀野６８３－２（古市コミュニティー消防センター）
ＴＥＬ＆ＦＡＸ　０７９－５９５－１０８５
【編集・発行】古市地区まちづくり協議会
ホームページ　http://furuichi-net.sasayama.jp/

あなたは英語が話せますか？
Can you speak English?

アレックスさんに見つめられても平気だぜー

今の年寄は、中学校へ行ってから「英語」を学びました。教科書は『Jack　&　Betty』でした。読むこと・書くこと・文法を理解することが主でした。ヒヤリングもスピーチも出来ない英語でした。修学旅行先で外国の人に話しかけられ、顔を真っ赤にして口ごもっていた英語の先生もいたのでした。

６年生と５年生の英語の時間を見学しました。ＡＬＴ（外国語指導助手）のアレックス・オレツキさんともすっかり仲良しの児童達は、英語で話し、英語で進む楽しい授業を受けていました。平成２３年度から必須科目になっています。この日の授業は外国語（英語）を用いて積極的にコミュニケーションを図ることができるよう，次の事項について指導する、という中の、

(1) 外国語を用いてコミュニケーションを図る楽しさを体験すること。
(2) 積極的に外国語を聞いたり，話したりすること。
(3) 言語を用いてコミュニケーションを図ることの大切さを知ること。

が見事に展開されていました。

６０年の時間差はまさに別世界でした。一度見学に行かれてはいかがですか？

帰り際に児童が「bye!」と行ってくれたので私も「bye!」と言ったら、「あっ　ちゃうねん！　See You　やった…」と。「また逢いましょう！！」という意味なのでしょうね。今、小学校はとても楽しい場所です。

ゲームで英語を覚えていく（５年生）

I can't OO　の発音だ（６年生）

（古市小学校にて）

生きがいデイサービス

次回は8月27日（木）
夏バテ予防

６月のデイサービスは「熱中症について」のお話をしていただきました。

熱中症になると、めまい・立ちくらみ・筋肉の痙攣・脱水症状・体温が38度以上になる…などの症状が出ます。

高齢になると体内の水分が減少し、熱中症になりやすくなります。対策としては、こまめな水分補給がまず重要。扇風機やエアコンの適切な利用も考えましょう。そして外出する時には、日傘や帽子を使用することです。パラソルをくるりと回して「小粋」に歩いてみませんか？

「熱中症になったかな？」と思った時は、涼しい所で安静にし、脇の下・首筋・脚の付け根を冷たいタオルで冷やし、躊躇せずに、すぐに救急車を呼びましょう。

たなばた七夕発表会

７月３日

一足早い七夕会が幼稚園で催されました。１人に１本ずつの笹には、お願いごとや、「ガンバルからねー」と書かれた短冊やリボンがきれいに飾られていました。

カメラを持ったお父さんやお母さん。爺ちゃん・婆ちゃんも覗きに来られていました。園児等の演技のあと、「保護者」もお勉強。そしてみんなで給食をいただきました。

文芸紹介

秋葉句会　7月例会から

六甲山紫陽花の山どこまでも　西井　雅子
汗しとど白球追ふ子のたくましき　勝岡　信子
汗拭きつ行かねばならぬ用のあり　光明　安子
忘れ物届け一気に玉の汗　田中　芳子
電車待つホームは一人濃紫陽花　足立美代子
琥珀から湧き出る夢や生ビール　秋月　祐
紫陽花の青さ丸さに地球見る　秋月　聖子

玉津句会　7月例会から

身を隠すことの早さや天道虫　前川　周山
天道虫落ちると見えて飛びにけり　前川　悦穂
天道虫二人の門出祝ふ虫　前川　正一
月よりも月の色して月見草　酒井　秀次
良き日かな天道虫見付た日　酒井　藤子
月見草夜空の光受け止めて　酒井八重子
暮れなづむ闇に開きし月見草　酒井美代子

波賀野新田　若葉句会　7月投稿句から

峡の虹添えて出したき便りかな　西井　節子
幾重もの花弁の奥に金亀子　酒井　秀次
凛として自然の美学虹立ちぬ　藤本とし子
川岸と彼方をつなぐ二重虹　酒井　實
にわか雨晴れた日射が虹を呼ぶ　田中　良子
虹立ちて淡き思ひ出峡の里　松木美智子
忽然と行方に虹の橋かかる　選者　酒井八重子

各部の活動予定

生活安全部

◆花事業　8月1日(土)　13:30～
◆古市幼・小芝刈り　8月11日(火)　08:30～
　8月25日(火)　08:30～

生涯学習部

◆パソコン教室　指導：上山
　8月4日(火)　15:00～17:00
　8月11日(火)　15:00～17:00
　8月18日(火)　15:00～17:00

健康福祉部

◆グランドゴルフ練習会　8月6日(木)　08:00～
　8月20日(木)　08:00～
◆生きがいデイサービス　8月27日(木)　13:30～

総務部

◆会報発行作業　8月19日(水)　13:30～

事務局

◆定例会議　8月10日(月)　19:00～
◆夢会議　8月7日(金)　13:30～

幸福度　町はハレの場だった

自論興論　投稿歓迎

かつて全国至る所に小さな町があった。ゆっくりと時間が流れる農村部から少しばかり出かけて行くと、そこには「町」があった。日用品や衣料品が並べられ、飴や煎餅がサバやイワシと同居していた。床屋では世間話に花が咲き、店先を荷車が通り、人々が行きかっていた。

役所や学校もあった。日が暮れるまで働いてからやっと買い物に行くと雨戸を開けて売ってくれた。夏の大売り出しや年末の「誓文払い」には、子どもたちもお小遣いを握りしめてワクワクしながら町へ出かけたものだった。

"綾小路きみまろ"のセリフではないが、「あれから50年」。町家は一日中戸が閉まり、放置された看板だけが空しく目に入る。つむじ風が砂埃を巻き上げて抜けて行くみたいだ。三船敏郎が出演した映画『鍵屋の辻の決闘』の場面を連想して仕方がない。

人々は、「町」が寂れても特別な悲壮感は持っていないらしい。大型店へ行けば何でも揃う。ご近所と乗り合わせて行くことも出来る。ネットでの買い方を覚えれば、注文した翌日に配達してくれるようにもなった。在庫を抱えている店よりもネットの方が安い物もある。

「費用対効果」で物事を考えるとおかしなことに馴らされてしまう。そんな中で、「国民総幸福度」を国是とするブータンがある。

調査項目や分析のやり方にもよるだろうが、兵庫県は「幸福度45位」だそうだ。新聞が特集を組むということは単なる「思いつき」ではない。組まずにおれない何かが忍び寄っているのかも?。さて、「古市地区」の幸福度はどうだろうか?

(K/S)

ふるいち幼稚園園歌

作詞　谷口裕美・守山香奈
作曲　酒井友里菜

しばふがひかる　えんていに
みんなのえがお　あつまるよ
てとてをつなぎ　わになって
うたおう　あそぼう　げんきよく
みんなのふるいちようちえん

たいようかがやく　あおいそら
ひびきわたるよ　わらいごえ
ぼくもわたしも　ともだちだ
いっしょに　おおきく　なりたいな
みんなのふるいちようちえん

「あると思っていたものが実はなかった」。気がつけば「なかった」のでした。そこで幼稚園と小学校の先生が腕によりをかけて作ったのです。3月末に完成。4月から園児達も練習して歌えるようになりました。入園式や卒園式、そしていろんな園の行事の時に歌われることになりました。よかったねぇ。

園歌があるのは市内で3園だけだそうだ。

作ってくれた先生たちありがとう!!